

千曲川下流森林計画区

第四次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成22年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積	3
	(4) 生産群別の面積等	3
	(5) 標準伐採量	3
	(6) 伐採総量	4
	(7) 更新総量	5
	(8) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	12
6	レクリエーションの森の名称及び区域	13
7	その他必要な事項	22
	(1) 施業指標林、試験地等	22
	(2) フィールドの提供	24

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所
ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊の伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施業群		面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
小面積 分散型	小面積 分散 伐区	1,724.98	育成 単層林 施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時モザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林を成立させる。 伐採方法は皆伐による。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60
長伐期	長伐期	1,756.10	育成 単層林 施業	主伐は、伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林を成立させる。 伐採方法は皆伐による。	スギ 120 ヒノキ 150 カラマツ 100

(単位：ha、年)

施業群		面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐	138.08	育成 複層林 施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為により複層林化を図り複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	ヒノキ 150 [75] カラマツ 100 [60] スギ 120 [60]
漸伐 複層型	天然林 漸伐 複層型	452.58	育成 複層林 施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図り複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	N 200 L 180
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	640.47	育成 複層林 施業	人工林及び天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立させる。	N95 L95 (35)
	天然林 択伐 複層型	1,056.52	天然 生林 施業		N 200 L 180 (25～35)
その他	その他	30.11	試験地等の設定目的による。		
合計		5,798.84			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[] は複層林の初回伐採の伐期齢である。

(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：ha)

施業群	上限伐採面積
小面積分散型	115.00
長伐期	58.54
複層型	11.23
漸伐複層型	11.31
択伐複層型	242.43

(注) 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の面積である。

(4) 生産群別の面積等 (単位：ha、年)

生産群	面積	生産目標等			伐期齢
		樹種	生産目標	期待径級	
カラマツ中径材	77.98	カラマツ	「信州カラマツ」の銘柄化に対応した一般建築用材や装飾材・集成材等の木工用材を主とした生産	26cm	60
ヒノキ中径材	8.41	アカマツ	芯持柱材や一般建築材を主とした生産	26cm	75
スギ中径材	316.93	針葉樹 広葉樹	「スギ材」の銘柄化に対応した芯持柱材や一般建築材を主とした生産	26cm	60
天然林中大径材択伐	30.32	ブナ その他L	一般建築材や高級家具材等の木工用材の多様な需要に対応した生産	44cm	180
合計	433.64				

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 期待径級は胸高直径である。

(5) 標準伐採量

当該計画区の資源の循環利用林はすべて分収造林契約に基づく分収造林及び分収育林契約に基づく分収林であるため標準伐採量は定めない。

(6) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ			(535.10) 41,572	41,572			
	水 源 か ん 養 タ イ プ	小 面 積 分 散 型	1,176	1,019	2,195			
		長 伐 期		84,983	84,983			
		人 工 林 複 層 伐	1,730	902	2,632			
		人 工 林 択 伐 複 層 型		13,036	13,036			
		そ の 他		337	337			
		小 計	2,906	(1,072.55) 100,277	103,183			
	計	2,906	(1,607.65) 141,849	144,755				
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ			(42.07) 3,259	3,259			
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ			(558.99) 36,808	36,808			
	計			(601.06) 40,067	40,067			
資 源 の 循 環 利 用 林	ス ギ 中 径 材			(67.68) 6,542	9,710			
	計		3,168	(67.68) 6,542	9,710			
合 計			(2,276.39) 188,458	194,532	17,468	212,000	212,000	
年 平 均			(455.28) 37,692	38,906	3,494	42,400	42,400	

(注) () 書きは間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 種 別	水 源 かん 養 種 別	計	自 然 維 持 種 別	森 林 空 間 利 用 種 別	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成		3.23	3.23				3.23	
	複 層 林 造 成		8.74	8.74				8.74	
	計		11.97	11.97				11.97	
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類		5.35	5.35				5.35	
	天 然 下 種 第 2 類	8.41		8.41				8.41	
	計		5.35	13.76				13.76	
合 計		8.41	17.32	25.73				25.73	

(8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 種 別	水 源 かん 養 種 別	計	自 然 維 持 種 別	森 林 空 間 利 用 種 別	計		
保 育	下 刈	53.52	23.48	77.00				77.00	
	つる切	127.66	131.16	258.82		4.92	4.92	263.74	
	除 伐	338.74	457.02	795.76	54.18	4.92	59.10	854.86	

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	開設	鳥居川戸隠	1033 1箇所	1,000	
	改良	温井野々海	133~166 5箇所	200	
		北志賀	153~156 5箇所	150	
		極野	124~126 3箇所	60	
		馬曲鳥甲	119~122		
			142~146 2箇所	100	
		御巢鷹大橋	1001~1012		
			7箇所	140	
		黒姫種池	1018~1023		
			3箇所	90	
	飯綱富士里	1037、1038 1040~1045	4箇所	120	
	計	29箇所	860		
その他	開設	西の入	1072, 1073 1箇所	1,000	
	改良	中津川	12、13 1箇所	20	
		朴の木沢	130~133 1箇所	20	
		樽川	155 1箇所	30	
		西の入	1073~1075		
			4箇所	100	
		赤野田	1176 2箇所	40	
		村松	1072 3箇所	120	
	計	12箇所	330		
合計	開設	2	3箇所	2,000	
	改良	13	41箇所	1,190	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
小赤沢・栃川・鳥居川下流・馬曲川・大黒沢・大沢 渋沢・上楠川・鳥居川上流・朝日山・関川・屏風沢 保科川	保 全 施 設	溪 間 工	13
鳥居川下流・大黒沢・保科川・渋沢・松川・上楠川 朝日山・馬曲川	保 全 施 設	山 腹 工	8
千曲川下流管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 育 外	1,163.02
合 計	保 全 施 設	溪 間 工	13
		山 腹 工	8
	保 安 林 の 整 備	保 育 外	1,163.02

- (注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。
 2 位置は単位流域を表す。
 3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

当計画区は貴重な自然環境としての天然林等が多数存在するため、国有林野事業の管理経営との調整を図りつつ適切に保護・保存を図って行くこととする。

また、緑の回廊を設定し、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることとする。

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類		森林生態系保護地域			
名称	新設 既設別	面積	位置 (林小班)	特徴等	施業等
佐武流 山周辺	既設	保存地区 5,200.45	20全,21ろ,は,ほ,へ,22は, ニ,23全,24い,へ~ち,25全, 26い,29い,31い,ろ,イ,ロ, 32い~に,イ, 33い,ろ,ほ,り, る,わ,イ,ハ,ニ,34い~に,イ~ ニ,35全,36い,ろ,は,37い,ロ, へ~り,38い,ろ,39い,ろ, 40い~ほ,か,41い~は, 42い~に,へ~ち,43い~ に,へ,ロ,ハ,ホ,へ,44い~と,ロ ~ニ,45全,46い,47い,に, ほ,イ,ハ	長野県北東部及び新潟 県南部に位置し、日本海 側の森林植生から太平洋 側の森林植生への推移帯 にあたる原生的な森林の 生態系を自然環境の維 持、動植物の保護、遺伝 資源の保存、森林施業・ 管理技術の発展、学術研 究等に資するため、保護 する。	保存地区の森林 については、原則 として人手を加え ずに自然の推移に 委ねる。 保全利用地区に ついては、木材生 産を目的とする森 林施業は行わな い。 なお、人工林を 含む場合は、複層 林施業等を行うこ とができるものと する。 細部について は、「佐武流山周 辺生態系保護地域 計画」により行 う。
		保全利用 地区 3,638.80	16い~は,イ,17ろ,イ~ホ,1 8ろ,イ,19全,21い,に,22い, ろ,に,イ~ハ,24ろ,イ~ホ,り,2 6ろ,は,イ,27全,28全,29ろ ~に,イ,30全,31は~ほ,32 ほ,へ,33は,に,へ~ち,ぬ,ロ,ホ, 34ほ,36に,37ろ~に,イ,ハ~ ホ,ヌ~タ,38は,39は,に,40 へ~わ,イ,41に,ほ,イ,ロ,42ほ, イ,43ほ,イ,ニ,44イ,46ろ,は, イ,47ろ,は,へ~ち,ロ,ニ,48全, 49全		
面積計		8,839.25			

(単位：ha)

種 類		林 木 遺 伝 資 源 保 存 林			
名 称	新 設 既 設 別	面 積	位 置 (林 小 班)	特 徴 等	施 業 等
カヤノ平 ブ ナ	既 設	36.54	535,54t	日本海型の典型的なブ ナ天然林を遺伝資源とし て保存する。	原則として伐採 は行わない。 ただし、保存対 象樹種の安定的か つ恒久的な存続を 図るために必要な 場合は枯損木及 び、被害木の除去 を中心とした弱度 度の択伐を行う。 更新は、天然更 新とする。
戸隠ハル ニレ等	既 設	42.43	1046^2,とぬ	戸隠森林植物園内に生 育するハルニレ等を遺伝 資源として保存する。	
面 積 計		78.97			

(単位：ha)

種 類		植 物 群 落 保 護 林			
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等	
カヤノ平 ブ ナ	既 設	244.35	典型的な日本海型の ブナ植物群落を保護す る。	原則として、人手を加えずに自然の推 移に委ねた保護管理を行う。 保護対象の維持・管理に対して必要と 認められるときには、更新補助作業又は 保育作業を行う。	
苗 場 山 湿 原	既 設	1,151.34	我が国でも有数な高 層湿原植物群落であり 周辺森林と合わせて保 護する。	湿原における施設の整備は、土地の復 元力が極めて弱い地域であるため、現施 設程度に止めるよう配慮するとともに湿 原地の保護に努める。	
小 菅 山 ヒメコマツ	既 設	21.04	学術的にも重要であ るヒメコマツ天然林群 落を保護する。	原則として人手を加えず自然の推移に 委ねた保護管理を行う。	
佐 渡 山 ス ギ	既 設	0.67	海拔1500m の豪雪地 帯に生育するスギ天然 林群落を保護する。		
笠 山 ネズコ	既 設	4.29	貴重なネズコ天然林 群落を保護する。		
面 積 計		1,421.69			

(単位：ha)

種 類		特 定 動 物 生 息 地 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
戸隠野鳥 生息地保 護林	既 設	137.38	戸隠山麓付近一帯に生息するコガラ、ヒガラ等豊富な野鳥類の生息地を保護する。	スギ、カラマツ人工林については、現地の実態を踏まえ必要に応じ、つる類の保存、実のなる木の植え込み、混交林の造成等多様な林分構成のための森林整備を行い、野鳥の繁殖、生息しやすい環境づくりに努める。
米子大型 鳥類生息 地保護林	既 設	1,153.02	全国的に生息数の少ない国内希少野生動植物種の生息地を保護する。	治山施設の整備に当たっては、生息に支障のないような時期、工種、工法等を採用する。
面 積 計		1,290.40		

(単位：ha)

種 類		特 定 地 理 等 保 護 林		
名 称	新 設 既 設 別	面 積	特 徴 等	施 業 等
月夜立	既 設	175.80	切立った断崖状の景観を成す特異な地形を保護する。	地形・地質等の特性を踏まえ原則として森林施業は行わない。
鳥甲山	既 設	1,118.94	北東面に両翼を広げたような断崖をもつなど、特異な山岳地形の続く鳥甲山一帯を保護する。	
笠ヶ岳	既 設	180.12	笠型の特徴ある山容を呈する独立峰笠ヶ岳の地形・地理を保護する。	
戸隠山	既 設	1,672.54	起伏がはげしく、岩壁窪地など特異な山岳地形を呈する一帯を保護する。	
面 積 計		3,147.40		

(単位：ha)

種 類		郷 土 の 森			
名 称	新 設 既 設 別	面 積	位 置 (林 小 班)	特 徴 等	施 業 等
鍋倉山	既 設	21.30	170いり	地元飯山市の「市の木」として指定されているブナの天然林を郷土の象徴として保護する。	自然の推移に委ねる管理又は現状の維持に必要な森林施業を行うことを基本とし、具体的にはそれぞれの保護・管理・利用計画書により行うものとする。
大ブナ	既 設	10.20	150り	古くから大ブナと呼ばれるブナの天然林を郷土の象徴として保護する。	
上の平	既 設	14.39	130り	上の平一帯のブナの天然林を郷土の象徴とし保護する。	
毛無山	既 設	23.28	129こ	毛無山一帯のブナの天然林を郷土の象徴とし保護する。	
面 積 計		69.17			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：km、ha)

種類		緑の回廊			
名称	新設 既設別	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等
緑の回廊 雨飾・戸 隠	既設	6.2 (16.6)	1,808.34 (3,792.09)	1056い、ろ、1057い、1058い～は、 1059い～ほ、1060、1061 1064～1066	<p>緑の回廊設定区域は、戸隠山特定地理等保護林から中部山岳森林計画区にまたがり、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、分断された個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は、ブナ等の広葉樹天然林が大半を占めている。</p> <p>施業については「緑の回廊雨飾・戸隠設定方針」による。</p>

(注) () 書きは中部山岳森林計画区と合わせた緑の回廊設定総延長及び総面積である。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類		自然休養林			
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業等
カヤの平	既設	1,454.78	付表1のとおり	自然探勝、野外スポーツ、ハイキング等の利用に供され林内の歩道等の整備もされており、保健文化的利用の適地である。	付表1のとおり
戸隠・大峰	既設	2,623.60	付表2のとおり	山岳、高原、池、湿地、動植物等の保健休養資源が豊富かつまとまりがあり、スキー、キャンプ、登山、自然探勝等の利用施設も整備されており森林レクリエーションの場として利用者が多い。	付表2のとおり
面積計		4,078.38			

(単位：ha)

種類		自然観察教育林				
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業等	
御鹿池	既設	75.08	1013い~はほ~ぬ ----- 1013に ----- 10134	黒姫野外スポーツ地域に隣接する山麓団地であり、周囲のスギ林等の森林と一体をなし、静寂で魅力ある森林であり、近年森林浴等で訪れる人が増加している。	スギ、カラマツの人工林については多様な動植物の生息・生育に必要な林床照度確保のため、間伐等を実施し針広混交の多層林の整備に努める。 (保健機能森林に該当)	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
面積計		75.08				

(単位：ha)

種 類		野 外 ス ポ ツ 地 域				
名 称	新・改 既設別	面積	位 置 (林 小 班)	選 定 理 由	施 業 等	
野 沢 温 泉	既 設	272.64	129さ,130ろ,と,ちる~ よ,な~むの,お,く	昭和36年に国 設スキー場とな り、隣接する野 沢温泉街と一体 となって利用者 が訪れる。	巢鷹湖に隣接する130 わ林小班については、風致 探勝の場として活用するた めの林内整備を図ることと し、スギ、カラマツの人工 林については、混入してい るブナ等の広葉樹の保残を 図り針広混交林に誘導す る。 天然林は、自然の推移に 委ね現状林分の維持に努め る。	育成複層林施 業
			128よら,129ねお~ や,こ~あき~め, 130いへぬた~ね,う, け,ふ,138ろ,140わ			天然生林施業
			129イ~ホ,130イ~ ヌ,138イ~ニ			林地以外
木 島 平	既 設	252.78	157い~ほとりかよそ, 158いるほとちよそつ, 159はにと~り,る,わ 157へちぬ~わたれ, 158はにへり~かたれ 157イ,ロ,158イ~ニ, 159イ,ロ	昭和47年に国 設スキー場とな り比較的交通条 件がよくまた、 隣接地には宿泊 施設等があり、 多くの利用者が 訪れる。	スギ、カラマツの人工林 については、混入している ブナ等の広葉樹の保残を図 り針広混交林に誘導する。 天然林は、自然の推移に 委ね現状林分の維持に努め る。	育成複層林施 業
			天然生林施業			
			林地以外			
戸 狩	既 設	211.91	172そお	昭和44年に国 設スキー場とな り比較的交通条 件がよく、多く の利用者が訪れ る。	スギの人工林について は、混入しているブナ等の 広葉樹の保残を図り針広混 交林に誘導する。 天然林は、ブナ大径木を 主とした大樹の森へ誘導す る。	育成複層林施 業
			172と~り,り,る~れ, ね~の,く,173い~はちぬ 172イ,ロ,173イ~ハ			天然生林施業
			林地以外			
黒 姫	既 設	119.41	1011ほとちわ~れ,つ,ふ ~え,あゆ, 1012いろわか,た,れ,い, れ,そ~ね,な1~な3,ら 1011にへねら,むお~ け,て,1012へり~る,よ, む 1011ロ,ハ,1012イ,ロ	昭和41年に国 設スキー場とし て開設され、隣 接地の別荘地、 牧場、コスモス 園等とあいまっ て、四季を問わ ず訪れる利用者 が多い。	スギ、カラマツの人工林 については、混入している 広葉樹の保残を図り針広混 交林に誘導する。 天然林は、ブナ大径木を 主とした大樹の森へ誘導す る。	育成複層林施 業
			天然生林施業			
			林地以外			

(単位：ha)

種 類		野 外 ス ポ ー ツ 地 域			
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等
牟 礼	既 設	219.74	1039い~にならや ----- 1039ほと~わたれむ ~くま~しもせ ----- 1039イ~ニ	牟礼村上村開拓地の雄大な斜面を利用した国設スキー場であり、豊かな雪と眺望等の恵まれた観光資源と、交通条件がよく、多くの利用者が訪れる。	スギ、カラマツの人工林については、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
飯 縄	既 設	203.92	1041る7,る10,よ~ れ,ね,な,む,お~あ,ゆ,め,も, せ,ん1,ん3,ん4,ん7, 1042へ~ち,ぬ~か,れ, ら,く,や,ふ~て ----- 1041る11,ら,う,の,さ, き,み~ひ,す,ん2,ん5,ん6, ん8,ん9, 1042に,り,よ,の,ま,け, あ,さ ----- 1041イ,ニ~へ, 1042イ~ニ	昭和40年に国設スキー場として開設され、広い裾野、豊かな雪、長野市からの近距離等、整った条件が揃っており長野市民のスキー場として多くの利用者が訪れる。	スギ、カラマツの人工林については、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 天然林は、自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。 育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
面 積 計		1,280.40			

種 類		風 景 林			施 業 等
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	
小菅山	既 設	66.75	141いろ	小菅山は山麓の北竜湖と一体をなし、良好な自然環境を呈しており、神社の背景林でもある美しい景観を呈している。	天然林は、自然の推移に委ね現状林分に努める。 天然生林施業
雑魚川	既 設	183.72	52い,53い,54い 60い,61い,ほ, 62い,63い,64い ----- 54イ,61イ	奥志賀スーパー林道及び上信越自然歩道周辺の森林で、ブナ、ナラ等の広葉樹天然林と雑魚川溪谷が一体となって優れた自然景観を呈している。	天然林は、自然の推移に委ね現状林分に努める。 天然生林施業 ----- 林地以外
朝日山	既 設	112.75	1068ちわな ----- 1068い~とり~ るか~ね ----- 1068イ,ロ	長野市西部の旭山山頂部に位置し、城跡地や旭山観音があり市街地からの眺望は長野市のシンボルとなっている。	スギ、アカマツ等の人工林については混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 天然林は、自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。 育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
木曾殿 アブキ	既 設	18.80	1053い 1062に	木曾殿アブキ周辺の地域であり、洞窟や断崖の景勝地で、自然探勝や森林浴等の利用者が多い。	天然林は、自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。 天然生林施業
面 積 計		382.02			

(単位：ha)

種 類		風 致 探 勝 林				
名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
野々海 池	既 設	138.90	161り,162かよ, ね,く,163ろは,へ, と	キャンプ、ハイキン グなどの利用者が多い 地域であり、湖と一体 となって風致探勝に適 した地域である。	天然林は、自然の推 移に委ね現状林分の 維持に努める。	天然生林施業
			162イ~ハ,163 イ			林地以外
斑 尾	既 設	47.52	175にとわよ	沼池と周辺森林の調 和のとれた地域で利用 施設の計画に適した地 域である。	スギ、カラマツの 人工林については、 混入している広葉樹 の保残を図り針広混 交林に誘導する。 天然林は、自然の 推移に委ね現状林分 の維持に努める。	育成複層林施 業
			175へか			天然生林施業
			175イ			林地以外
茶屋池	既 設	42.68	169ぬ,170ほ	火口湖として誕生し た茶屋池周辺のブナを 主とする天然林で、池 と一体となった活用に 適した地域である。	天然林は、自然の 推移に委ね現状林分 の維持に努める。	天然生林施業
			170イ,ロ			林地以外
面 積 計		229.10				

附表

1 カヤの平自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
自然観察教育 ゾーン	240.17	59ろ ----- 59へとぬ,152ろ,にち ----- 59ロ,ハニ	天然林については、自然の推移に 委ね現状林分の維持に努める。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外
森林スポーツ ゾーン	55.95	153ぬ ----- 152ほ,153ら ----- 152イ~ホ,153イ~リ	カラマツ人工林については、混入 している広葉樹の保残を図り、将来 は周辺の天然林のカラマツ、カンバ 等の広葉樹とともに、林内が適度に 明るい針広混交林に誘導する。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外
風景 ゾーン	826.69	60そならむく,やえ 150へるわ,151ぬけ,こ,き~め, 152へ,153ほとれむおく,まけ,こえあ~め ----- 59ほ,ちりた, 60れ,つね,う,け,こあ,150ぬか,151ふえ あさ,152い,153に,へち,よた,そつ,う,の,やふて,みひ, 154るよ,155よ ----- 60イ,ロ	スギ、カラマツの人工林につい ては、混入している広葉樹の保残 を図り針広混交林に誘導する。 天然林は、自然の推移に委ね現 状林分の維持に努める。	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業 ----- 林地以外
風致探勝 ゾーン	331.97	153わか,ねなし,154りわか 155ぬ ----- 152はと,153り,る,154とちぬ,155と,る,かた,な	カラマツ人工林については、混入 している広葉樹の保残を図り針広混 交林に誘導する。 天然林は、自然の推移に委ね現状 林分の維持に努める。 (保健機能森林に該当)	育成複層林 施業 ----- 天然生林施 業

附表

2 戸隠・大峰自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
自然観察教育ゾーン	269.75	1028とね,1046い,る,に,ほ,ち,り,る~かれ,そ,ね,む ~け ----- 1028に~へ,わ,つ,な 1046は,へ1,へ2,とぬ,よ,た,つ,なら ----- 1028ト,1046イ,ハ	ゾーン内の戸隠ハルニレ等林木 遺伝資源保存林及び戸隠野鳥生息 地保護林は、自然休養林の重要な 構成部分であることから重複指定 されているが、管理経営に当たっ ては、自然維持タイプの管理経営 の指針によるものとする。 スギ、カラマツの人工林につい ては、混入している広葉樹の保残 を図り針広混交林としつつ、他の 天然林とともに大樹の森に誘導す る。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
森林スポーツゾーン	35.28	1030そ ----- 1028れ,そ ----- 1028イ~ハ,チ,1030イ~ト	風景ゾーンと同様な施業を行 う。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
野外スポーツゾーン	402.42	1029ち,ぬ,る1,る2,わ~た,の~や,こ,ん3,ん5,ん6 1045お,ま~こ,み,ひ~せん1,ん2 ----- 1029そ,つ,な~う,え~す,ん1,ん2,ん4 1031れ~つ,ら,む,1032り,1034け,1045の, く,や,え~め,し,す,ん3,ん4,ん5 ----- 1029イ~へ,1030又,1031口~こ, 1034イ,1051イ~チ	スギ、カラマツの人工林につい ては、混入している広葉樹の保残 を図り針広混交林に誘導する。天 然林は、自然の推移に委ね現状林 分の維持に努める。	育成複層林施 業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
風景ゾーン	1,285.39	1024リ7,1029リ	スギ、カラマツの人工林については、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。天然林は、自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。	育成単層林施業
		1024ほへ1～へ3,と1,と2,リ1～リ6ぬらむ1,む2,の1,の2おく1,く2,やまふこ1,こ2え1～え3,て～さめみし1～し3,ん3,ん6,1025はに,1026いろに～へぬわ～ねら～ひ,1029へ1～へ3,へ5,まふ1030リぬわなむ,1031にほるな		育成複層林施業
		1022おや,1023つね,1024ちわそ,つきゆす,ん5,1025いろほへ,1026はと～り,るな,1027ほ,1028ぬる,1029ほれけ,1030へちるら,1031とりわ～た		天然生林施業
		1024へ,ト,ヌ,ヨ,1025イ,1030チリ		林地以外
風致探勝ゾーン	630.76	1024ろ1～ろ11,たれうせん1,ん4,1027い,1028ろ,1029いと,1030いろほか～れう,1031はぬね	風致探勝ゾーンである大峰山、風景林である朝日山一帯は近年「松くい虫」の被害マツ天然林から針広混交林へ誘導する。 また、アカマツ以外の天然林については、自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。 カラマツ人工林については、混入している、広葉樹の保残を図り、針広混交林に誘導する。 (保健機能森林に該当)	育成複層林施業
		1024いはにるかよけひもん2,1027ろ～に,1028いはちりか～た 1029ろ～に,1030はにつの, 1031いろへ,1069い～な		天然生林施業
		1024イ～ホチ,リル～カ,1027イ, 1028ニへ,1031イ,1069イ～ト		林地以外

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位: ha)

対象団地	面積	関係林小班	施業等	
かの平	1,951.21	52へ、53ろ、り、ぬ、54ろ、は、り、わよ、 55ろ、へ、56い、は、に、ち、57い~は、ほ、 58いにほと~り、るよ、れ、59ろ、かよ、60ろ~ と、ぬ、わ、よ、た、の、お、ま、さ、き、61ろ、は、へ、 と、ぬ~わ、62ろ、に、ち~り、63ろ、に~と、64ろは、 ほ、ち、ぬ、わ~た、そ ----- 52ろはと54に、ほ、ぬ、る、55いはと、56ろほ~ と、り、57に、へ~ち、58ろ、は、へぬ、た、そ、つ、 59い、は、に、わ、れ~つ、60ち、り、る、か、ふ、て、 61に、ち、り、62は、ほ~と、ぬ、る、63は、64に、 へ、と、り、る、れ、つ ----- 52イ、ロ、64イ、ロ	スギ、カラマツの人工林は、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 天然林は自然の推移に委ね現状分の維持に努める。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
大次郎	392.05	121ろ、ほ、と、122ろ、は、へ、123に、へ、わ 124は、ほ、126へ ----- 121は、に、へ、122ほ、と、ち、123ほ、と、124へ ~ち、125よ、126た、そ~ね	スギ、カラマツの人工林は、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 天然林は自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業
巢鷹	156.67	127と、ち、つ、ら、128れ、そ ----- 27り、か、れ、そ、ね、な、128つ、ね	スギ、カラマツの人工林は、混入している広葉樹の保残を図り針広混交林に誘導する。 天然林は自然の推移に委ね現状林分を維持する。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業
内山	51.23	141ち、る、わ、ね、ら~の ----- 141ぬ、か	小宮神社の参道と一体となった人工林(スギ)であり、間伐等必要な施業を行い大樹の森に誘導する。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業
鍋倉	105.25	170に、と、ち、ぬ ----- 170ろ、は、へ	鍋倉山「郷土の森」の周辺の森林であり、施業等は「郷土の森」の取り扱いに準じて、天然林は自然の推移に委ね、現状林分の維持に努める。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業
毛無山	91.66	138い	天然林は自然の推移に委ね現状林分の維持に努める。	天然生林施業
計	2,748.07			

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：h a)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林 小 班)	備 考
施業指標林	ブナその他有用広葉樹天然林	S 59年度	5.21	61ろ	天然林施業体系の確立
	ブナ天然更新	H 5年度	2.23	60り	漸伐施業実行成功例
	カラマツ人工林間伐推進	S 60年度	17.63	1038は	
試 験 地	スギ耐雪性系統別	S 46年度	5.60	109た	系統別の耐雪性
	野沢スギ人工林収穫	S 36年度	1.09	1350	成長量等のデータ収集
	キハダ天然更新	S 54年度	3.42	60ち	基礎データ収集
	カラマツ人工林収穫	S 35年度	1.10	1036け	
	スギ人工林収穫	S 37年度	1.64	1038い	
	カラマツ産地に関する共同試験	S 33年度	0.73	1038こ	
	〃	S 33年度	1.32	1038く	
	〃	S 33年度	0.67	10380	
	ブナ成長固定試験	H 元年度	18.22	130ほ内	
	〃	S 63年度	12.32	146ち内	
	〃	S 63年度	21.95	152に内	
母 樹 林	特45-1	S 45年度	0.67	1001ち	特別母樹林（スギ）
展 示 林	スギ耐雪性系統別	H 5年度	1.40	135な	
	戸隠森林植物園	S 46年度	64.28	1046ろ,ほ,へ1,へ2,と,ち	
	カラマツ施肥	H 5年度	0.96	1017へ	
次代検定林	関長-43 (一般)	H 3年度	0.66	136ため	
	関長-ホ (試植)	S 39年度	0.33	1028ね	
	関長-17 (一般)	S 49年度	2.07	1044き	
	関長-26 (地域差)	S 54年度	0.48	1035ろ	
	関長-38 (遺伝)	S 63年度	0.57	1034へ2	
遺伝子 保存林	長遺-8	S 44年度	2.00	144ち	(スギ)
	長遺-8	〃	2.50	141じ	(スギ)

(単位：ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林 小 班)	備 考
精英樹 保護林	スギ飯山6号	S 33年度	0.14	137に	
	スギ飯山7号	"	0.10	137ほ	
	スギ飯山8号	"	0.17	137へ	
	スギ飯山9号	"	0.22	136そ	
	スギ飯山10号	"	0.26	130ら	
	スギ飯山11号	"	0.24	130む	
	スギ飯山12号	S 40年度	0.20	134ち	
	スギ飯山13号	"	0.20	136る	
	スギ飯山14号	"	0.10	135に	
	スギ飯山15号	"	0.32	136つ	
	スギ飯山16号			136つ	
	スギ飯山17号	S 41年度	0.40	130う	
	スギ飯山18号			130う	
	スギ飯山19号	S 41年度	0.24	130な	
	ヒメコマツ飯山10 6,114,119,120,130~ 132,134,136,141~1 44,151号	S 42年度	2.77	141は	
	スギ長野2号	S 33年度	0.02	1015ぬ	
	スギ長野3号	"	0.07	1036せ	
	スギ長野5号	"	0.09	1036も	
スギ長野6号	"	0.12	1036す		
スギ長野101号	S 34年度	0.67	1001ち		
巨樹・巨木	ブナ(森太郎)	H 12年度		170以内 (巨樹・巨木が存する林分)	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進 について」により選定
森林施業 モデル林	育成単層林施業 (針広混交林化)	H 11年度		135て	
	育成複層林施業	H 11年度		153れ	
	育成複層林施業 (針広混交林化)	H 11年度		1002え4	

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
戸隠ふれあいの森	605.10	1024い、ろ1~11、は~ほ、へ1~3、 と1~2、ち、り1~7、ぬ、ら~う、 の1 ~2、お、く1~2、や~ふ、こ1~2 、え1~3、て~み、し1~3、す、ん1~6、 イ、ハ、ハ、ル、ワ、ヨ、 1028い~は、ち~ぬ、か、た~そ、イ 1029い~に、へ1~3、へ5、と、ま、 1030い~ほ、か~そ、う、の、イ~こ 1046い~へ、む~け	協定相手方 戸隠ふれあいの森 森林整備協議会 戸隠森林植物園ボランティアの会 特定非営利活動法人やまぼうし自然学校 協定年度 平成11年度 目 的 ボランティア団体による 自主的な森林整備活を行 う。
計	605.10		

イ 木の文化を支える森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
道祖神祭りの森	15.14	135い、ほ	協定相手方:地縁団体 野沢組 協定年度 平成15年度 目 的 地域の伝統行事である野 沢温泉村の道祖神祭りにも 使われている資材の育 成を図る。
戸隠竹細工の森	389.97	1030へ林小班外	協定相手方:戸隠中社竹細工生産組合 協定年度 平成17年度 目 的 地域の伝統工芸品である 戸隠竹細工用資材の保護 と育成を図る。
計	405.11		

ウ 遊々の森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
<small>やまわら もり</small> 山童の森	13.84	1037ろ2	協定相手方:学校法人 東京環境工科学園 協定年度 平成15年度 目 的 国有林野を林業体験、自 然観察等の多様な体験活 動の場として活用を図る ため設定。
計	13.84		

エ その他

名 称	位 置	設 定 の 目 的 等
関田トレイル	大神楽国有林外の 関田山脈平丸峠～ 天水山の稜線を結 ぶ区間約30km(一部民有 地を含む)	協定相手方 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ (注1 関東森林管理局上越森林管理署との3者協 定) (注2 区間総延長は斑尾山～天水山結ぶ50kmのう ち国有林が主体の左記区間について協定を締結) 協定年度 平成16年度 目 的 トレイル(森林保全巡視路)の整備・維 持管理・利用を通じ地域の活性化に資す るため。

名 称	位 置		設 定 の 目 的 等
ファミリー・フォ レスト・ガーデン	40.07	151さ 152い 152は	協定年度 平成18年度 目 的 国有林野において親子が自然と親しみ、 遊び、学ぶ場を提供するため。
計	40.07		